

2021年4月6日

関係御各位

上智大学 文学部長  
寺田 俊郎

### 専任教員の公募について（依頼）

拝啓 日に日に春めく中、時下ますますをもって御清栄のことと存じます。

さて、此の度上智大学文学部におきまして、下記の要領にて専任教員を募集することになりました。つきましては、貴学（機関）関係者に御周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

1. 職位・人数 准教授または助教 1名（助教は最長5年任期、但し昇任の可能性あり）
2. 所属部署 文学部 哲学科
3. 専門分野 西洋近代・現代哲学
4. 担当科目 認識論、西洋近代哲学史、文献講読等の学科専門科目、1～2年次生のための学科専門演習科目、卒業論文指導、文学部横断型人文学プログラム科目、キリスト教人間学系科目（全学共通）、大学院科目
5. 応募資格
  - (1) 哲学の分野のうち、西洋近代哲学また認識論を主な専門領域とする人
  - (2) 博士の学位を有すること、または着任以前に取得見込みであること
  - (3) 本学のカトリック・キリスト教の精神に基づく教育に十分な理解があり十分に協力できる人
  - (4) 英語による授業を担当できる能力を有する人
  - (5) 学生指導や学科の業務を日本語で行うことができる人
  - (6) 当哲学科および文学部の運営に協力する能力と意欲のある人
  - (7) 教育、研究、学部・研究科運営、入学試験関連業務に積極的な人
  - (8) 大学が必要とする業務に従事できる人
  - (9) 海外での研究履歴（通算で一年以上の研究滞在もしくは海外での Ph.D の取得）、或いは同程度の能力を示す人が望ましい。
6. 着任時期 2022年4月1日

7 提出書類

- (a) 履歴書（様式自由、写真を貼付し、連絡先としてメールアドレスおよび固定電話番号、携帯電話番号と FAX 番号を明記のこと。研究資金の獲得や受賞歴についても、該当事項があれば記載すること。
- (b) 最終学歴の終了証明書および学位記の写し
- (c) 主要業績 3 篇（コピー可、それぞれについて 20 行程度の日本語による要約を付すこと。なお、必要に応じてその他の業績の提出を求めることがある。）
- (d) 研究業績目録（著書、論文、口頭発表、その他をそれぞれ年代順にまとめて記載したもの）

8. 応募期限 2021 年 5 月 14 日（金）必着

9. 書類提出先 〒 102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学 哲学科 事務室

※ 封筒に「教員応募書類在中」と朱書きの上、必ず書留郵便  
ないしは宅配便にて送付のこと。

10. 問い合わせ 電子メールに限定する。

E-Mail : [dphirlit@sophia.ac.jp](mailto:dphirlit@sophia.ac.jp)（哲学科 事務室）

上智大学 文学部 哲学科 学科長 長町 裕司

11. その他

※ 提出書類は返却しない。

※ 提出された書類ならびに個人情報、当人事選考以外の目的以外には  
一切使用しない。

以上

各関係大学（学部・研究科）長 殿  
各関係機関の長 殿

富山大学人文科学系長  
黒田 廉  
(公印省略)

## 教員の公募について（依頼）

拝 啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本学系の教育研究活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび本学系では、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。つきましては、貴学関係者ならびに関係諸方面へのご周知をお願い申し上げます。

敬 具

### 記

1. 職名・人員 講師 1名（任期10年 再任可）
2. 所属領域等 学術研究部人文科学系 人文学部 言語文化領域（日本語学）
3. 専門分野 日本語学、国語学
4. 担当科目等 学 部：教養教育科目「言語と文化」、専門科目・教科及び教職の指導法に関する科目「言語文化入門」「日本語学概論」「日本語学特殊講義」「日本語学演習」「日本語学講読」「東アジア言語文化特殊講義」「国語科教育法」等  
大 学 院：専門研究科目「日本語学特論」「日本語学特論演習」、特別研究「課題研究」等
5. 採用予定年月日 令和3年10月1日以降のできるだけ早い時期
6. 応募条件
  - 1) 大学院修士課程修了者またはこれと同等以上の研究業績を有する者
  - 2) 大学院修士課程の授業担当及び研究指導または研究指導補助が可能な者
  - 3) 大学またはそれに準ずる高等教育機関における教育経験を有する者またはこれと同等以上の教育能力を有する者
  - 4) 学生指導をはじめ大学教育に熱意を持ち、学内業務に精励できる者
  - 5) 科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲がある者
  - 6) 地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できる者
7. 書類提出期限 令和3年6月4日（金）17時 必着

8. 提出書類

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1) 履歴書 (3ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと)     | 1部  |
| 2) 研究業績リスト (主要研究業績3点に○印をつける)    | 1部  |
| 3) 主要研究業績3点もしくはそれらのコピー          | 各1部 |
| 4) 主要研究業績3点の要旨 (A4版用紙、各800字程度)  | 各1部 |
| 5) 着任後本学での教育・研究に関する抱負 (2000字程度) | 1部  |

\* 提出された書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

9. 書類送付先 〒930-8555

富山市五福3190 富山大学人文科学系長 黒田 廉

封筒の表に「言語文化領域 (日本語学) 教員応募書類」と朱書き、簡易書留郵便または書留郵便で送付のこと。

\* 応募書類は原則として返却しません (審査終了後、適切に処分します)。

なお、返却を希望する場合は、応募時にその旨を文書でお知らせ下さい。

10. 問い合わせ先 (公募内容等) 富山大学人文学部総務課

電話：076-445-6140

Fax：076-445-6141

E-mail：jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp

(給与関係) 富山大学総務部人事課

電話：076-445-6524

11. その他

- 1) 選考の段階で面接を実施する場合があります。その際の旅費等をご自身で負担願います。
- 2) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。
- 3) 採否の結果については、決定後速やかに応募者本人に通知します。
- 4) 労働条件については、本学職員就業規則によることとし、給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。また、本学では令和2年4月1日から新年俸制 (退職時に退職手当を支給する年俸制) を導入し、本公募による採用者も新年俸制を適用します。
- 5) 令和2年4月2日以降の新規採用教員については、任期制を適用することとしています。

○ 富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます。

〔富山大学男女共同参画推進室〕 <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

以上

# 研究業績一覧

年 月 日

氏名

## 1-1. 著書（専門書）

著書のタイトル, 総ページ数	単著・編著・共著の別	発行年月	発行所・出版社	特記事項 (共著者名, 担当章のタイトルとページ数など)

## 1-2. 著書（一般書・入門書）

著書のタイトル, 総ページ数	単著・編著・共著の別	発行年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	特記事項 (共著者名, 担当章のタイトルとページなど)

## 2. 翻訳

著者・タイトル, ページ数	単訳・共訳	発行年月	出版社名 学術雑誌に掲載の場合, 雑誌名, 巻号, ページ	特記事項 (共訳者や担当章のタイトルとページなど)

## 3. 学術論文（査読付き論文）

論文タイトル	単著・共著の別	発行年月	雑誌名, 巻号, ページ	特記事項

				(共著者名, 担当章の タイトルとページ数 など)

#### 4. 紀要等 (査読なし論文)

タイトル	単著・ 共著の別	発行年月	雑誌名, 巻号, ページ	特記事項 (共著者名, 発表学会 など)

#### 5. その他 (プロシーディングなど)

タイトル	単著・ 共著の別	発行年月	雑誌名, 巻号, ページ	特記事項 (共著者名, 発表学会 など)

#### 6. 学会発表

タイトル	単独・連 名の別	発表年月日	発表学会名	特記事項 (連名のものなど)

#### 7. 外部資金

研究課題名	代表・分 担の別	年度	課題番号	獲得金額

各関係大学長 殿  
各関係大学学部長 殿  
各関係機関長 殿

東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科長

熊倉純子

(公印省略)

## 大学院国際芸術創造研究科専任教員の公募について（依頼）

この度、本研究科では下記の要領により教員を公募します。

つきましては、この旨を貴学・機関関係者に広く周知いただきますよう、お取り計らい方よろしくお願ひします。

### 記

- 採用職名 教授、准教授または講師
- 所属 大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻
- 専門分野 リサーチ
- 採用人数 1名
- 担当科目等 学部・大学院におけるリサーチ領域（現代文化芸術に関する人文・社会科学）における講義・演習、修士・博士論文指導等（アートマネジメント、キュレーション領域の学生の論文指導を含む）学務・大学院運営業務等
- 給与 本学規定による
- 就業時間 専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなす）
- 休日 本学規定による
- 社会保険等 文部科学省共済組合
- 応募資格 (1) 博士号 (Ph. D.) を有するか、又はこれと同等以上の能力及び研究実績があること。英語圏大学院における修士号 (MA) 以上の学位が望ましい。  
(2) 現代文化・芸術（現代美術、音楽、思想・哲学、文化研究、映像、メディア、ポピュラー文化、フェミニズム等のうちいずれか）に関する優れた業績を有すること  
(3) 授業（講義・演習）と学内業務に支障のない日本語能力を有すること  
(4) 英語による講義・演習、英語論文の指導ができること  
(5) 採用後、通勤可能な範囲に居住できること
- 採用予定日 令和4年（2022年）4月1日  
※東京藝術大学の規定により、定年（満67歳）を上限として教授、准教授には10年、講師には5年の任期が付される（ただし再任可）。
- 提出資料 (1) 履歴書（写真貼付、携帯電話番号、メールアドレスなど確実な連絡方法を明記）  
(2) 作品・研究業績一覧表  
(3) 主要業績3点（著書・論文など）。また活字以外のメディアによる業績があれば参考資料として添付することができる。  
主要業績についてはそれぞれ400字程度の解説を付すこと。  
(4) 本学において実現したい教育研究に関する1200字程度の文章（書式自由）  
※提出された個人情報採用に関する業務・連絡・手続き以外の目的に使用することはない。  
※希望者には提出書類を返却する。郵送を希望する場合は、必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。宅配便等を希望する場合は送付票（着払い）に記入の上、返信用封筒と共に同封すること。
- 選考方法等 第一次審査：書類選考（8月中旬の予定。選考結果は書面にて通知する）  
第二次審査：面接（必要に応じて、模擬授業等を求めることがある）  
令和3年9月上旬ごろの予定。一次審査選考結果通知時に詳細を通知する。  
(応募にかかる旅費等の経費は応募者の自己負担とする)  
※審査内容等の選考経過は一切公表しない。
- 応募期限 令和3年7月6日（火）17時必着（郵送（書留）、ゆうぱっく又は宅配便で、配達記録が残るもの

に限る、持参不可)

15. 提出先 〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

東京藝術大学千住校地事務センター総務係 宛

※必ず書留郵便とし、表に「大学院国際芸術創造研究科教員応募資料在中」と朱書すること。

16. 問合せ先 東京藝術大学千住校地事務センター総務係 (担当: 佐藤)

Tel : 050-5525-2274 / Fax : 03-5284-1574 / E-mail : tomoyuki@off.geidai.ac.jp



2021年4月7日

関係各位

九州大学基幹教育院長  
谷口説男

基幹教育院（人文社会科学部門）教授の公募について

拝啓 時下ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

このたび本教育院では、下記の公募を行うことになりました。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、関係する皆さまにお知らせいただくとともに、適任の方に応募をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

なお、基幹教育院については、ホームページ <https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/> をご参照ください。

敬 具

1. 職名・人員：教授 1名（任期なし）
2. 所属：基幹教育院 人文社会科学部門
3. 職務
  - (1) 英語に関する教育・研究
  - (2) 基幹教育院が企画運営する全学的な教育活動
  - (3) 学府、学部等の教育・研究に関する活動
4. 応募条件：次の各号の条件を満たす者
  - (1) 博士の学位を有する者
  - (2) 英語学、英文学、米文学のいずれかに関する教育・研究で優れた業績を有する者
  - (3) 基幹教育で実施する授業、アクティブ・ラーナー育成のための組織的な取り組み、並びに自らの専門分野における大学院教育の授業が担当できる者
  - (4) 日本語非母語話者の場合は業務遂行に必要な日本語運用能力があること。
5. 着任時期：2022年4月1日以降のなるべく早い時期
6. 労働条件：
  - (1) 試用期間：試用期間あり（3か月）

ただし、国、地方自治体又はこれに準ずる関係機関の職員から引き続き本学の職員となった者については、この期間を短縮すること、または設けないことがあります（本学就業通則第6条第1項）。
  - (2) 就業場所：基幹教育院（福岡市西区元岡744）

(3) 就業時間：専門業務型裁量労働制により 7 時間 45 分働いたものとみなされます。

(4) 休日：土日、祝日、12/29～1/3

(5) 賃金：年俸制（令和 2 年 4 月 1 日導入の年俸制）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

(6) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

(7) 募集者：九州大学基幹教育院

7. 提出書類（電子媒体による提出の場合は、書類はすべて pdf 化した上で提出すること。郵送による提出の場合は、(1)と(2)について電子媒体も添付のこと。(1)は下記 URL から様式ファイルをダウンロードし作成してください。それ以外の書類について様式は特に定めません。）

(1) 履歴書（別紙様式）※A4 版、写真貼付、連絡先とメールアドレスを明記のこと。

（様式ファイル）<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/recruit/>

(2) 研究活動実績と研究業績目録（①審査付学術誌の原著論文、②その他の論文等、③学術的著書等、④学会等における発表、⑤科研費等の競争的資金の取得状況、⑥その他必要と判断されるもの）

(3) 教育活動実績・社会活動実績一覧

(4) 主要業績 5 編以内 各 1 部（郵送の場合、電子媒体があればそれも添付のこと）

(5) 着任後の教育及び業務に関する抱負（A4 版 2000 字程度）

(6) これまでの研究概要と着任後の研究に関する抱負（A4 版 1000 字程度）

(7) 応募者について問い合わせのできる方 3 名の氏名と連絡先及びそのうち少なくとも 1 名からの推薦状。ただし、推薦状に関しては、応募書類とは別便で推薦者の方が下記「書類提出先」に応募期限までにお送りいただいても結構です。

以上の書類を封筒に同封のうえ、表面に「基幹教育院教員 人文社会科学部門（英語分野）教授 応募書類在中」と朱筆し、簡易書留で郵送すること。電子媒体による応募書類提出を希望の方は、8. に記載のメールアドレスに件名を「九州大学・基幹教育院（人文社会科学部門）教授応募」として電子媒体提出希望の旨連絡してください。メールを受信後、24 時間以内に提出方法のご案内の返信をします。（メールサーバ等の状況により若干遅れることがあります。）

郵送された応募書類は、原則として返却しません。返却を希望する場合は、返信用の封筒（宛名を記し、必要額の切手を貼付したもの）を同封してください。

8. 応募締切り：

【応募書類締切】

2021年7月29日（木）17時までに必着のこと。

【電子媒体提出希望連絡締切】

2021年7月28日（水）15時まで

（学務部 基幹教育・共創学部課 運営支援係）

E-mail：koubo@artsci.kyushu-u.ac.jp

9. 選考方法：選考に当たっては面接を行う場合があります。ただし、その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担とします。

10. 書類提出先及び問い合わせ先

提出先：

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学 基幹教育院 院長 谷口 説男

（学務部 基幹教育・共創学部課 運営支援係）

問い合わせ先：

九州大学 基幹教育院 教授 三木 洋一郎

E-mail：ymiki@artsci.kyushu-u.ac.jp

11. その他

- 九州大学は女性研究者の応募を歓迎し、働きやすい職場を研究者の皆様に提供すべく努力しています。
- 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員選考を行っています。
- 九州大学男女共同参画推進室ホームページ <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>
- 九州大学では、新規採用教員は原則として採用後5年間は英語による授業を行うこととなります。
- 九州大学では、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- 英語の教育・研究に係る基幹教育院教員は、大学院人文科学府、大学院地球社会統合科学府、共創学部でも教育・研究活動にあたっています。